

福井県カーボンニュートラル推進 オープンフォーラム 『脱炭素経営』ご紹介

福井県では**2050**年カーボンニュートラル実現に向け、産官学金民が連携する「カーボンニュートラル福井コンソーシアム」を設立し、県内企業の脱炭素化を後押ししています。中小製造業の経営者にとって、自社のカーボンニュートラル対応は喫緊の課題であり、新たな成長機会でもあります。

本オープンフォーラムは、企業経営者・担当者を対象に、**GX**リーグが策定した最新の「**GX**スキル標準」を活用しながら、脱炭素経営の知識とスキルを段階的に習得する場として企画しました。参加者が自社に必要な**GX**人材のスキルを理解し、具体的な計画立案・実行へとつなげることを目指します。

福井県カーボンニュートラル推進アドバイザー
石井 元

背景と目的



現状の課題

中小製造業の経営者からは「何から始めればよいか分からない」「社内に詳しい人材がない」といった声が多く、実践に移せない現状があります。



フォーラムの目的

GXリーグが策定した「**GX**スキル標準」を活用し、脱炭素経営の知識とスキルを段階的に習得する場を提供します。



期待される成果

参加者が自社に必要な**GX**人材のスキルを理解し、自社の脱炭素経営の具体的な計画立案・実行へとつなげることを目指します。

（ご参考） **GX**スキル標準とは

GXスキル標準は、脱炭素社会への移行（**GX**）を推進する上で企業に必要な多様なスキルを体系的に整理・定義した指針です。企業が自社の**GX**戦略に必要な人材要件を明確化し、人材育成や採用に役立てることができます。

GXアナリスト

データ分析を担当し、企業の排出量や削減ポテンシャルを定量的に評価します。

GXストラテジスト

脱炭素戦略の立案を担当し、企業全体の方向性を決定します。

GXプロジェクトマネージャー

具体的な脱炭素プロジェクトの実行と管理を担当します。

GXコミュニケーター

社内外への情報発信や啓発活動を担当します。

今年度テーマ：実践！知る・測る・削減する・創る をスパイラルに進める！

知る

脱炭素経営・カーボンニュートラル推進の基礎知識を知る段階です。気候変動や政策動向、企業経営における意義について学びます。

創る（NEW）

脱炭素を攻めの経営に活かす段階です。製品・サービスのイノベーションによって新たな付加価値を「創造」し、脱炭素をビジネスチャンスに変えます。



測る

自社のCO₂排出量を「見える化」する段階です。温室効果ガス算定の基本となる範囲や算出方法を理解し、実際に自社の排出量を計算します。

削減する

CO₂排出量の削減策を講じる段階です。エネルギー効率化、再生可能エネルギー導入など、様々な削減アプローチの知識を身につけます。

対象と開催形式

対象者

福井県内の主に中小企業の経営者および実務担当者を対象としています。特に自社の脱炭素経営にこれから本格的に取り組もうとする企業、**GX**推進の人材育成を必要としている企業を想定しています。

忙しい経営者の方でも知識習得のみの参加から実践ワークへの参加まで柔軟に選択できるよう配慮しています。

開催形式

対面開催（福井市内 会場予定）で実施します。

本フォーラムはオープン参加型の学習セミナーと、希望者による少人数の実践ワークショップを組み合わせた構成です。「インプット（知識習得）の場」と「アウトプット（実践適用）の場」を組み合わせ、学んだ内容を即自社で活かすサイクルを回します。

プログラム構成



オープンフォーラム（セミナー）

各回のテーマに沿った講義形式のセミナー（約2～3時間）



実践会（ワークショップ）

オープンフォーラム終了後、希望者のみを対象に開催する少人数制のワークショップ（各回別日開催、約2～3時間程度）



自社での実践

セミナーとワークショップで学んだ内容を自社で実践

本事業は全3回シリーズで構成されています。各回とも講義・ディスカッション形式のセミナーと、希望者のみを対象とした少人数制のワークショップを実施します。セミナーでは最新情報や知識提供、事例紹介を中心とした学習を行い、ワークショップではセミナー内容を自社の状況に落とし込む実践の場を提供します。

開催スケジュール（予定）

第1回オープンフォーラム (7月17日（木曜）午後予定)

テーマ：「脱炭素経営の意義と基礎知識、GX人材とは
CO2排出量算定の概要」

脱炭素経営の全体像とスタートラインを学ぶ回です。

第2回オープンフォーラム（9月）

テーマ：「自社CO2排出量の詳しい計算方法と削減アプローチ」
自社の足元の数字を把握し、具体的な削減策に踏み出す回です。

第3回オープンフォーラム（11月）

テーマ：「国際認証の活用と脱炭素経営による新サービス
開発・PR戦略」
脱炭素経営を発展させ、社外へ発信・新事業創造
につなげる回です。



第1回実践会（8月）

第1回フォーラム参加者の希望者対象。自社のCO2排出量の簡易算定演習やGX推進体制の見直しワークを行います。

第2回実践会（10月）

希望者対象。自社データを用いた詳細排出量算定実習、削減施策アイデアの検討ワークを行います。

第3回実践会（12月）

希望者対象。自社の脱炭素目標設定や今後のアクションプラン策定、新たなサービス案のブレストを行います。

第1回オープンフォーラム内容案

第1回オープンフォーラムでは、脱炭素経営の全体像を掴み、まずは知識をインプットすることが狙いです。「知る」のステップに重点を置きつつ、「測る」の基礎に触れます。



脱炭素経営の意義と最新動向

気候変動対策の世界的潮流や国の政策、市場で高まるESG・SDGs重視の流れを解説します。なぜ今企業が脱炭素経営に取り組む必要があるのか、そのリスクと機会を整理します。



GX人材とGXスキル標準の紹介

GXリーグとは何か、その中で策定されたGXスキル標準とは何かを説明します。企業のGX推進に必要な人材像や求められるスキルセットを概観し、自社にはどのような能力を持つ人材が必要か考えてもらいます。



CO2排出量算定の基礎

自社の現状を「測る」重要性を学びます。温室効果ガス排出量算定の基本的な考え方（スコープ1・2・3の範囲、直接排出・間接排出の違い等）を説明し、全体像を掴んでももらいます。



第1回実践会内容案

第1回実践会は、第1回フォーラムの内容を各社で具体化するフォローアップの場です。参加者には事前に「自社のエネルギー使用量等の基本データを収集してくる」という課題をお願いし、そのデータを用いて実践的なワークを行います。



自社CO₂排出量の試算演習

講師およびスタッフのサポートのもと、参加各社が持参した自社データ（例：年間電力使用量、燃料使用量など）を用いて、自社の概算CO₂排出量を計算してみます。



GX推進の自己診断

GXスキル標準のチェックリスト等を用いて、自社のGX推進体制・人材について簡易診断を行います。各社が自社の強み・弱みを認識し、今後育成すべき人材像を整理します。



共有とフィードバック

演習結果や診断結果を参加者同士で共有します。他社の状況を知ることによって新たな視点を得たり、自社だけでは気付かなかった課題に気付くきっかけとします。





第2回オープンフォーラム内容案

第2回オープンフォーラムでは、第1回から一歩進み、「測る」「削減する」のステップに重点を置きます。自社排出量を正確に算出し、有効な削減策を立案できる知識を提供します。

CO₂排出量計算の詳細解説

第1回で概略を掴んだ算定方法について、より具体的かつ実践的に解説します。例えば電力使用に伴う排出量算定では最新の排出係数の調べ方、燃料ごとのCO₂換算方法、さらにはサプライチェーン全体（スコープ3）の算定手法にも触れます。

CO₂削減策の具体例紹介

中小製造業で実際に効果を上げている脱炭素化施策を紹介します。設備更新による省エネ、生産プロセスの見直し改善、再生可能エネルギーの活用、原燃料転換、物流の効率化や事業所のデジタル化による省エネなど、幅広い事例を取り上げます。

自社の削減ポテンシャルを考える

講義の途中や後半で短いワークショップ時間を設け、参加者各自が「自社で実行可能な削減アイデア」をリストアップし共有します。講師が各社のアイデアにコメントし、有望な施策や留意点をフィードバックします。

第2回実践会内容案

第2回実践会では、第2回フォーラムで得た知識を基に、各社の削減計画立案を支援します。事前課題として参加者には「自社の詳細なエネルギーデータや設備情報の収集」「社内で考えられる削減案の洗い出し」を依頼し、それらを材料に実践的なワークを行います。

詳細な排出量算定演習

各社ごとに実データを持ち寄り、可能な範囲で詳しい排出量算定を行います。例えば電力以外の燃料使用、原材料調達由来の排出量（スコープ3一部）の推計など、第1回実践会より踏み込んだ算定を試みます。

CO2削減計画のブラッシュアップ

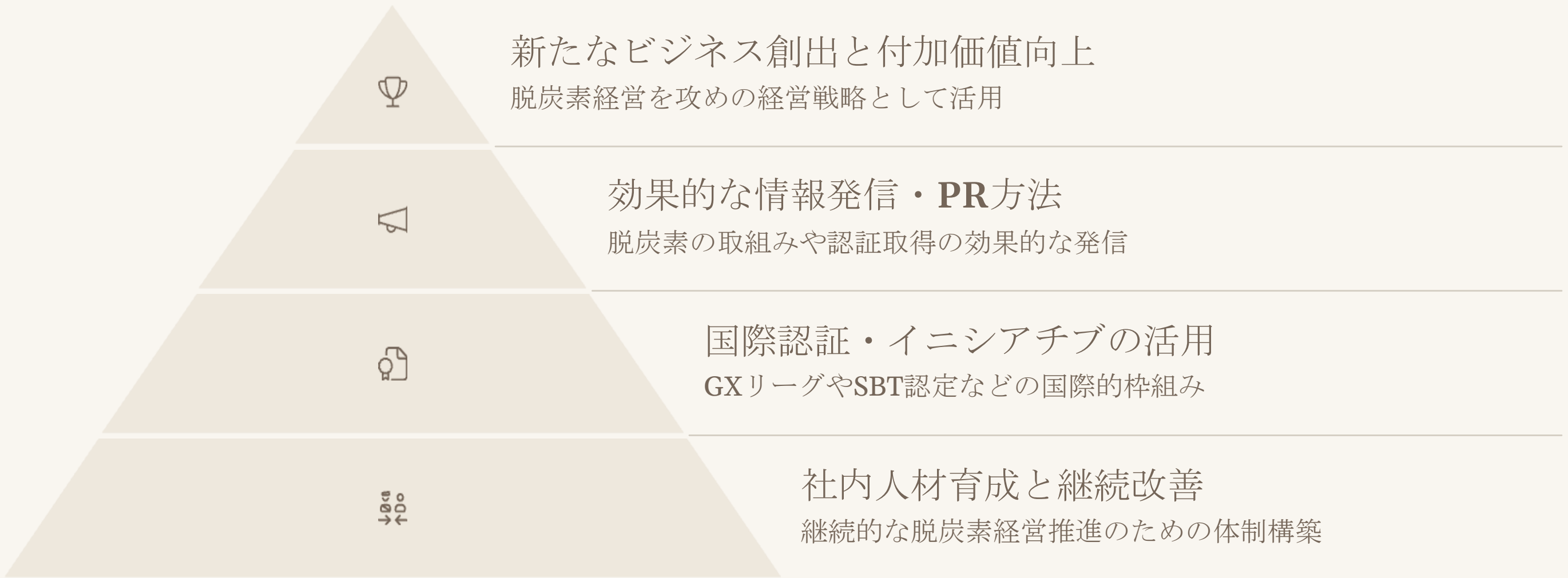
各社が事前に考えてきた削減施策アイデアを共有し、グループディスカッションでブラッシュアップします。他社からのフィードバックや、講師からの専門的アドバイスを得て、施策ごとの優先度や実行時期、目標値などを盛り込んだ簡易計画書を作成します。

発表と講評

各社が検討した削減計画の概要を発表し、講師および参加者全員で講評・意見交換します。互いの計画から学び合い、「すぐ実行できそうな施策」や「共通の課題」について意見を交わします。

第3回オープンフォーラム内容案

最終回は「削減する」「創る」のステップを仕上げる段階です。削減目標を社外に発信・公約し、自社のブランド価値や新規事業につなげる攻めの脱炭素経営にフォーカスします。



第3回実践会内容案

シリーズ最後の実践会では、各社の最終的な脱炭素経営アクションプランをまとめ上げます。事前課題として「自社の中長期CO2削減目標（草案）」や「脱炭素を活かした新規事業アイデア」を検討してきてもらい、それらを基に実践的なワークを行います。

自社GXロードマップ策定

各社が2030年頃までのCO2削減目標を仮設定します（可能であればSBT水準を意識）。それを達成するためのロードマップをワークシート上で作成します。ロードマップには短期（1年以内）、中期（3~5年）、長期（10年程度）のマイルストーンを設定します。

新規事業・サービスアイデア討議

脱炭素経営を攻めに活かすアイデアについて各社が持ち寄った案を発表し、グループでブラッシュアップします。商品開発アイデアであれば市場性や差別化ポイント、サービス提案であれば収益モデルや競合優位性など、ビジネスプランの観点からも検討します。

最終共有・クロージング

全参加者で今回の実践会およびシリーズ全体を通じて得られた学びを共有し合います。各社が策定したアクションプランや新規アイデアの発表会を兼ね、互いに健闘を称え合います。本フォーラムで形成されたネットワークを活かし「オール福井でカーボンニュートラル推進を！」とのメッセージで締めくくります。